

授業科目名	看護技術Ⅰ			担当教員	阿部 オリエ、鬼丸 美紀	
開講年次	1年前期	セメスター	1	時間数(単位数)	45 (2)	
必修選択	必修	授業形態	講義	使用教室		
授業の目的	看護における技術の特性、原理・原則を学び、日常生活援助を行うための基本的な看護技術を習得する。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護援助における生活援助技術の特性、原理・原則を説明できる 2. 看護援助に共通する基本技術の意義・根拠を説明できる 3. 人間の日常生活行動の意味を理解し、基本的な援助技術を実施することができる 4. 看護技術を学ぶにあたり、基本的な学習姿勢を身に着けることができる 					
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	看護援助における援助技術の概念と特殊性について理解する 看護援助に共通する原理・原則、基本技術とは何か	講義	予習：Ⅰ p2-15、Ⅱ p2-8 を熟読し、ポイントをおさえる	30	阿部	
2	安全に関する知識と技術を習得する 1) 事故防止のための基礎的知識・感染性廃棄物の取り扱い 2) 感染予防としての日常的手洗い、標準予防策など	講義	予習：Ⅱ p422-430、452-453 を熟読し、ポイントをおさえる	30	阿部	
3	対象の理解に必要となる基本的知識を習得する 1) 観察するということ 2) バイタルサイン(体温、脈拍、呼吸)、身体計測など 生活環境調整の知識を習得する	講義	予習：Ⅰ p88-96、81-86、107-122、Ⅱ p10-22 を熟読し、ポイントをおさえる	30	阿部	
4	対象の理解に必要となる基本的技術を習得する 1) バイタルサイン(体温、脈拍、呼吸) 2) 身体計測(身長・体重・腹囲)	演習	予習：バイタルサイン(体温、脈拍、呼吸)、身体計測(身長・体重・腹囲)ができるようにポイントを学習ノートにまとめる	60	阿部	
5	生活環境調整の技術を習得する 環境調整、ベッドメイキング	演習	予習：空床のベッドメイキング、ベッド周囲の環境調整ができるようにポイントを学習ノートにまとめる	60	阿部	
6						
7	活動と休息、安楽確保に関する基本的知識を習得する	講義	予習：Ⅱ p94-115、138-145 を熟読し、ポイントをおさえる	60	阿部 鬼丸	
8	活動と休息、安楽確保の基本的技術を習得する	演習	予習：Ⅱ p103-112、138-145 を熟読し、体位変換、体位保持ができるようにポイントを学習ノートにまとめる	60	阿部 鬼丸	
9						
10	活動と休息の基本的技術を習得する 歩行・移乗(車いす・ストレッチャー)・移送	演習	予習：Ⅱ p112-126 を熟読し、体位変換、体位保持ができるようにポイントを学習ノートにまとめる	60	阿部 鬼丸	
11	技術試験：BM もしくは移動・移送	演習	事前配布のチェックリストに基づき練習する	適宜	阿部	
12	清潔・衣生活援助の知識を習得する(1) 全身清拭、寝衣交換	講義	予習：Ⅱ p152-170、202-209 を熟読し、ポイントをおさえる	45	阿部	

13	清潔・衣生活援助の技術を習得する(1)	演習	予習：Ⅱ p152-170、202-209を熟読し、全身清拭、寝衣交換ができるようにポイントを学習ノートにまとめる	60	阿部
14	全身清拭、寝衣交換				
15	清潔・衣生活援助の知識を習得する(2)	講義	予習：Ⅱ p170-184を熟読し、ポイントをおさえる	45	阿部
16	洗髪、部分浴				
16	清潔・衣生活援助の技術を習得する(2)	演習	予習：Ⅱ p170-175、182-184を熟読し、ベッド上での足浴、洗髪ができるようにポイントを学習ノートにまとめる	60	阿部
17	ベッド上での足浴、洗髪				
18	清潔・衣生活援助の知識を習得する(3)、食の援助技術を習得する	講義	予習：Ⅱ p26-39、188-202を熟読し、ポイントをおさえる	60	阿部
19	食事の援助、整容、口腔内清潔				
19	清潔・衣生活援助の技術を習得する(3)、食の援助技術を習得する	演習	予習：Ⅱ p26-39、188-202を熟読し、食事の援助、整容、口腔内清潔ができるようにポイントを学習ノートにまとめる	60	阿部
20	食事の援助、整容、口腔内清潔				
20	排泄援助の知識を習得する、清潔・衣生活援助の知識を習得する(4)	講義	予習：Ⅱ p58-70、185-187を熟読し、ポイントをおさえる	60	鬼丸阿部
21	床上排泄、陰部洗浄				
21	排泄援助の技術を習得する、清潔・衣生活援助の技術を習得する(4)	演習	予習：Ⅱ p58-70、185-187を熟読し、床上排泄、(床上における)陰部洗浄ができるようにポイントを学習ノートにまとめる	60	鬼丸阿部
22	床上排泄、(床上における)陰部洗浄				
23	まとめ 記録と報告 [技術チェック1フィードバック] [筆記試験のフィードバック]	講義	予習：Ⅰ p256-262を熟読する。復習：実習にむけての課題について考える	適宜	阿部
先行履修科目					
テキスト	茂野香おる他：系統看護学講座 専門分野1 基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ 第16版。医学書院，2015。 任和子他：系統看護学講座 専門分野1 基礎看護学〔3〕基礎看護技術Ⅱ 第17版。医学書院，2017。				
参考文献	適宜、紹介する。				
科目の位置づけ	看護の基盤領域の演習科目となる。今後学ぶ予定の看護過程のサイクルからすると主に「実施」にあたる部分となる。本科目は看護技術Ⅱ～Ⅴへと段階を追って学ぶ上でも基本となる重要な演習科目であり、看護技術の原理・原則を学ぶ重要な科目である。また、大学生としてどのように学習していくかという自己教育力を身に着ける機会にもなる。				
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力
		○			◎
評価方法	筆記試験(70%)、実技試験(10%)、学習ノートの充実度や授業への参加態度(20%)などを総合的に評価し、単位認定する				